

自然と生き物の色々な話



～岩石を例えよう!～食べ物?岩石?～

山陰海岸では冬の大きな波の予行練習のような波が浜や岩場に押し寄せ、波音を立てています。

このような波が海の岩を削り、山陰海岸特有の景色を作り出しています。

今回は生き物の話から少し離れて、山陰海岸国立公園で見られる5つの岩石を食べ物に例えると何になるか考えてみたいと思います。



凝灰角礫岩 食べ物に例えると……ピーナッツチョコ

火山灰がぎゅっと固まってできた柔らかい岩の中に、角張った礫が入っている岩です。海岸沿いでは火山灰の岩だけ削れて礫が岩からぼろぼろ落ちている様子が見られます。柔らかい火山灰をチョコレート、固い石をナッツと考えるとピーナッツチョコとよく似た造りをしています。



砂岩 食べ物に例えると……落雁

砂岩は細かい砂の粒がぎゅっと押し固まってできた岩石です。砥石やタイルとして使われている岩です。和菓子の落雁は細かいお米の粉と砂糖を練って固めて乾燥させた物ですので砂岩によく似た造りです。この写真では砂岩と泥岩が交互に積み重なって縞模様になっています。



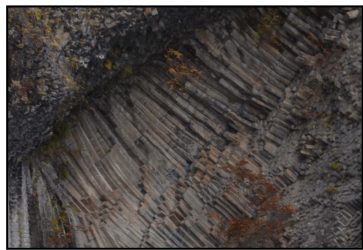
流紋岩 食べ物に例えると……バームクーヘン

薄い石の層が何枚も重なってできている石です。石器時代に使われていた黒曜石はこの岩の仲間です。薄い層が何層も重なった形状はバームクーヘンやミルフィーユによく似ています。



花崗岩 食べ物に例えると……炊き込みご飯のおにぎり

花崗岩はたくさんの透明な石英とクリーム色の長石に、少しの黒い雲母が、ぎゅっと固まってできています。壁や石碑、表札などいろいろなことに使われます。石英と長石をお米、それ以外を野菜や茸と考えると炊き込みご飯のおにぎりに例えることができます。



玄武岩 食べ物に例えると……プリン

石英(水晶のもと)が半分、それ以外のアルミや石灰等がどろどろに溶けた物が冷えて固まってできています。石英を牛乳、アルミや石灰を卵や砂糖として考えると、プリンによく似ています。

生き物と比べると岩石は一見地味に見えますが、よく調べてみると岩石それぞれに造りや性質などさまざまな特徴があることがわかります。